

みずほCustomer Desk Report 2020/08/24号(As of 2020/08/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	105.70 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.68	1.1870	125.49	1.3224	0.7204
SYD-NY High	106.07	1.1883	125.54	1.3255	0.7216
SYD-NY Low	105.44	1.1755	124.46	1.3059	0.7139
NY 5:00 PM	105.81	1.1796	124.82	1.3090	0.7160
NY DOW	27,930.33	190.60	日本2年債	-0.110	1.00bp
NASDAQ	11,311.80	46.85	日本10年債	0.030	0.00bp
S&P	3,397.16	11.65	米国2年債	0.146	0.41bp
日経平均	22,920.30	39.68	米国5年債	0.267	▲0.48bp
TOPIX	1,604.06	4.86	米国10年債	0.636	▲1.62bp
シカゴ日経先物	22,900.00	▲ 80.00	独10年債	-0.5095	▲1.30bp
ロンドンFT	6,001.89	▲ 11.45	英10年債	0.2045	▲1.95bp
DAX	12,764.80	▲ 65.20	豪10年債	0.8920	2.90bp
ハンセン指数	25,113.84	322.45	USDJPY 1M Vol	6.50	▲0.18%
上海総合	3,380.68	16.78	USDJPY 3M Vol	8.04	▲0.14%
NY金	1,947.00	0.50	USDJPY 6M Vol	7.65	▲0.05%
WTI	42.34	▲ 0.48	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	149.96	▲ 0.86	EURJPY 3M Vol	8.10	▲0.16%
ドルインデックス	93.25	0.45	EURJPY 6M Vol	8.10	▲0.15%

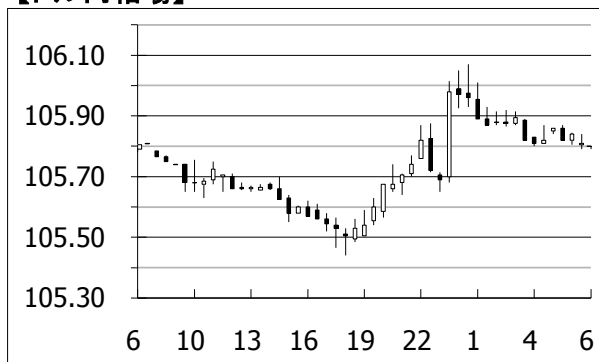
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月21日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアCPI(前年比)	7月 0.3%/0.0%/0.4%	0.3%/0.1%/0.5%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	7月 2.0%/3.1%	0.2%/1.5%
	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)・速報	8月 53.0/50.8/53.7	52.3/55.2/55.0
	22:45	米 マークイット製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	8月 53.6/54.8/54.7	52/51/-
	23:00	欧 消費者信頼感	8月 -14.7	-15.0
	23:00	米 中古住宅販売件数	7月 5.86m	5.41m

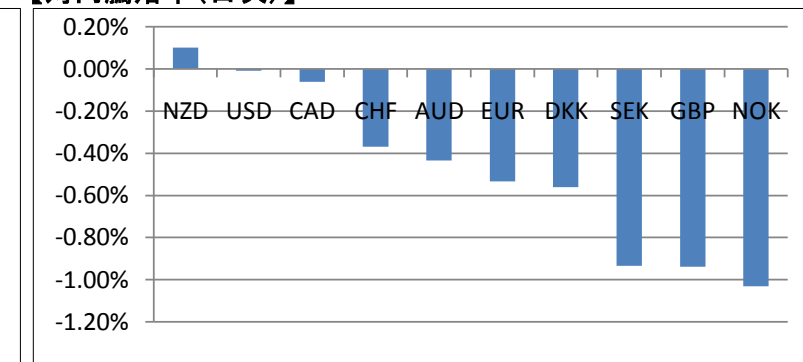
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月24日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	7月 3.7	4.11

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.10	1.1750-1.1850	124.50-125.30

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル/円相場は一時下押しする場面があったものの、106円付近まで上昇。欧州経済指標の冴えない結果にユーロ円が下落。ドル円にも下落圧力がかかり105円半ば付近まで軟調に推移。しかし、NY時間に発表された米経済指標が市場予想を上回ったことや米株の堅調な推移にサポートされ、ドル円は106.07まで上昇。その後は若干値を戻し105.80付近でクローズ。
先々週から続いていたユーロ高にも一服感が見られ、相対的にドルが反発しやすい状況となっている一方で、27日にはパウエル議長の講演を控え、積極的な取引が控えられる可能性は高いことから、106円付近では上値の重い展開を想定する。

東京	東京時間のドル/円は105.68レベルでオープン。オープン直後に105.75をつけ、その後はドル売の展開。新規の取引材料がなく、週末の様子見ムードも強まる中、狭いレンジ内での値動きに留まり、結局105.57レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.57レベルでオープン。朝方に、ユーロ圏の8月サービスPMIと製造業PMI指数(速報値)がそれぞれ50.1と51.7と発表され、市場予想の54.5と52.7を下回ったことを受けてユーロ売り・ドル買いが優勢となった。ドル円はじりじり上値を切り上げて、105.76レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3244レベルでオープンし、全般的なドル高を受けて一本調子で下落し、1.3109レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、低調な欧州経済指標結果を手掛かりに下落するユーロ円に圧迫され、105.44までじりじりと下落。しかし、米株先物が堅調に推移していることや、対欧州通貨のドル買いが強まったことから、この水準で下げ止まり、早朝に105.77まで戻し、105.76レベルでNYオープン。朝方は105.65まで下落するが、米8月PMI(速報値)が発表され予想を上回るとドル買いが強まる。10時発表の米中古住宅販売件数も予想比で上振れ、米株高・債券安の流れにサポートされ、一時106.07まで上昇。その後、今月署名された米大統領令によって使用禁止になるとみられていた中国製通信777を巡り、トランプ米政権が米企業による中国での使用が可能となることを示唆するも、市場の反応は限定的だった。午後は米金利の低下が重しとなり、じり安推移。週末を前に次第に小動きとなり、結局、105.81レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.18台半ばで方向感のない推移でスタートするが、フランスやユーロ圏の8月PMIが予想以上に低調な結果(独8月製造業PMIは予想を上回ったものの、総合PMIは予想を下回った)だったことからユーロ売りが加速。早朝にバルエEU主席交渉官がブレグジットを巡り「現段階では英国との合意の公算は小さい」と述べ、ブレグジット交渉の先行き不透明感が高まる中、ポンドの下落につれ安となり、1.1772をつけ、1.1775レベルでNYオープン。朝方はユーロ売りが一服し、1.1790まで上昇するも、その後は米経済指標の結果が予想を上回ったことからドル買いが強まり、1.1755まで安値更新。午後は米金利の低下を眺め、ドル売り優勢となり、じりじりと上昇。終盤に1.1798まで戻し、結局、1.1796レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・大谷

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	14